

歴史的仮名遣い・行書の特徴・部首

中学校

(1) 次は、「平家物語」の一部です。これを読んで、――線部①・②をそれぞれ現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

かたきはおうてもこで、長刀杖ながなたつゑにつき、甲よろこの鑊しほをさしあげ、
① 大音だいのんじやう声をあげて、「日ごろは音にも聞きつらん、今は目
にも②見給みたまへ。これこそ京わらんべのよぶなる上総かずさの悪七あくしち
兵衛景清びやうゑかげきよよ」となのりすててぞかへりける。

①
②

(2) 次の行書で書いた漢字の○で囲まれた部分の㊦と㊧の特徴として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つずつ選びなさい。



- 1 筆順の変化
- 2 点画の連続
- 3 点画の省略
- 4 点画の方向や形の変化

㊦
㊧

(3) 次の□内の三つの漢字と同じ部首に属する漢字を、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

炎 灰 焼

- 1 岸
- 2 秒
- 3 厚
- 4 無

歴史的仮名遣い・行書の特徴・部首

解答

(1) 次は、「平家物語」の一部です。これを読んで、――線部①・②をそれぞれ現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

かたきはおうてもこで、長刀杖ながなたつゑにつき、甲の鑊しころをさしあげ、
① 大音だいのんじやう声をあげて、「日ごろは音にも聞きつらん、今は目
にも②見給みたまへ。これこそ京わらんべのよぶなる上総かずさの悪七あくしち
兵衛景清ひやうゑかげきよよ」となのりすててぞかへりける。

- ① だいのんじよう
- ② みたまえ

(2) 次の行書で書いた漢字の○で囲まれた部分の㉠と㉡の特徴として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つずつ選びなさい。



- 1 筆順の変化
- 2 点画の連続
- 3 点画の省略
- 4 点画の方向や形の変化

- ㉠ 2
- ㉡ 4

(3) 次の [] 内の三つの漢字と同じ部首に属する漢字を、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

炎 灰 焼

- 1 岸
- 2 秒
- 3 厚
- 4 無

4